

競技注意事項

(日本大学陸上競技場版)

1. 規則について

本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 団体待機場所については、桜上水駅側出入口の左側のスペースを開放する。主催者側で各団体待機場所の割り振りは行わないため、各自で場所を確保すること。また、本競技会には、多くの団体、選手が参加するため、節度をもった使用を心がけること。1 日目競技終了後、荷物を置いておくことも可能とする。ただし荷物をまとめた状態とし、各団体が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 3) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 4) 競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- 5) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 6) グラウンドでは、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 7) トレーナー活動は、各団体の選手待機場所にて行うこと。
- 8) 練習は練習可能エリアを利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。

2. 競技者の招集について

- 1) すべて現地招集とする。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。代理人による点呼は認めない。
- 4) 点呼の際には、アスリートビブス、ユニフォーム、腰ナンバー標識、シューズ、商標のチェックを行う。
- 5) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 6) 招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。

3. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは正規のものを 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2)トラック種目出場者は招集所で配付する腰ナンバー標識を、両腰の上部、やや後ろにつけること。
- 3) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	アスリートビブス
男子	黄地×黒数字
女子	ピンク地×黒数字
十種競技最終種目	白地×黒数字
七種競技最終種目	白地×赤数字

4. 欠場について

エントリー後、何らかの事情で欠場する場合には、3月10日（金）12時までに欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール（entry@kgrr.org）または、FAX（03-5411-1499）に送信すること。

また、3月10日（金）12時以降（大会当日を含む）に欠場を申し出る場合は、欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール（entry@kgrr.org）を送信するか、大会当日に大会本部に用意してある欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、大会本部に提出すること。

5. 競技の抽選・番組編成について

- 1) 試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。

6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 投てき物に関して持ち込みを希望する場合は、競技開始の1時間30分前から1時間15分前までに大会本部にて公式計測員による検査を受けること。持込可能な投てき物は1人1個とする。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後は「預り証」を確認の上、競技終了後現地で返却する。個人所有のものは競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については持ち込み者個人の責任とする。

7. 競技について

1) トラック競技について

- ① 計時は全て電気計時（0.01秒）を用いて行う。

2) フィールド種目について

- ① 砲丸投・ハンマー投の試技は3回とする。

3) 混成競技について

- ① 招集は1日目、2日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了とする。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 競技者は、走高跳は1日目最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
十種	走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	+3cm
七種	走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	+3cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

4) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外から見せることに限定され、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

5) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアを以下の通りに設ける。

1 日目：メインストレート・Aピット側曲走路・Bピット側曲走路

2 日目：Aピット側曲走路

8. 結果発表と抗議について

- ・各種目の結果の正式発表は、アナウンスにて行う。
- ・競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、大会本部にある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

9. 商標等について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を遵守すること。基準を超える商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等で隠すこと。

10. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2022 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

11. その他

1) 入場規制について

今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止とする。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
コーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
グラウンド・混成競技控室	競技役員・選手
各諸室	競技役員

2) 盗難・紛失について

主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は大会本部で保管するが、回収当日の全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する)。

3) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
3月17日(金)	7:30	19:30
3月18日(土)	8:30	13:00

※開・閉門時刻は厳守のこと。

4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟